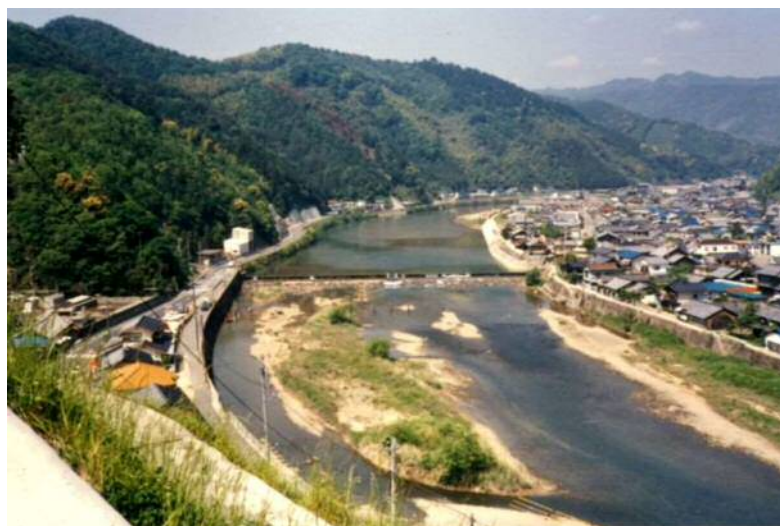


中市堰

河川名	小瀬川水系小瀬川	魚道	階段式魚道 (W=1.5m)
位置	右岸 和木町瀬田二丁目地先 左岸 大竹市元町二丁目地先	歩道橋	下路式 (プレートガーダー1桁橋)
ゲート形式	魚腹型式鋼製転倒ゲート	竣工年	平成6 (1995) 年2月
堰長	102.8m	利用目的	洪水の安全な流下 塩害の防止 農業用水の取水位の確保
純径間長	29.100×3径間		
ゲート高	2.64m		

大竹村、和木村の農業用水の取水のために江戸時代（天保年間）に建設され長年にわたりその役目を果たしていましたが、昭和26年のルース台風による洪水時に流失しました。その後、可動堰に改築されましたが、老朽化や堰敷高が高く洪水を安全に流せない等の問題があり、洪水のスムーズな流下、塩害の防止、取水位の確保を目的とした現在の堰が平成5年に完成しています。



改築前の中市堰



現在の中市堰